

2002年からは、これまでの環境憲章を「FDKグループ環境方針」に改めることで、環境保全活動をより強化するとともに、グループ一体となった活動を行っています。具体的な活動については環境行動計画に基づいて展開しています。

## FDKグループ環境方針

企業の事業活動に伴う環境への取り組みは、国や地方の規制に対応するだけでなく、地球レベルの視点で主体的に考え、地球温暖化対策、廃棄物の削減、化学物質の管理の徹底などに対して行動しなければならないと考えています。それは、持続可能な社会の構築という大きな命題への共通認識でもあると考えています。FDKグループは、自社の活動に加え、富士通株式会社とグループでの活動推進に取り組みます。そのために環境活動の根本である環境方針を統一しました。これは、自主的な環境負荷低減とグループでの活動による相乗効果により、さらにしっかりした環境活動の推進を狙ったものです。

### 理念

FDKグループは、環境保全への取り組みが重要な経営課題であると認識し、IT企業としてその持てるテクノロジーと創造力を活かし、社会の持続可能な発展に貢献します。また、事業活動にかかわる環境法や環境上の規範を遵守することとどまらず、自主的な環境保全に努めます。さらに、豊かな自然を次の世代に残すことができるよう、すべての組織と一人ひとりの行動により先行した取り組みを継続して追求していきます。

### スローガン

FDKグループは自然を愛します  
かぎりある地球のために

### 行動指針

- 1 製品のライフサイクルを通じ、すべての段階において環境負荷を低減する。
- 2 省エネルギー、省資源および3R(リデュース、リユース、リサイクル)を強化したトップランナー製品を創出する。
- 3 有害な化学物質や廃棄物などによる自然環境の汚染と健康被害につながる環境リスクを予防する。
- 4 IT製品とソリューションを通じ、お客様や社会の環境負荷低減と環境効率の向上に貢献する。
- 5 環境に関する事業活動、製品およびサービスについての情報を開示し、それに対するフィードバックにより自らを認識し、これを環境活動の改善に活かす。
- 6 従業員一人一人は、それぞれの業務と市民としての立場を通じ環境の改善に努める。

## 組織と体制

「環境会議」において、FDKグループ全体の環境方針などの重要事項を審議して決定します。決定された内容は、経営者層で構成される「経営会議」において承認を得てから展開されます。そしてISO14001の環境マネジメントシステムの単位で構成された「事業所環境管理委員会」で、方針・施策についての具体的な実行計画を策定し、マネジメントのP(Plan)D(Do)C(Check)A(Action)のサイクルによって、スパイラルアップを目指した活動を展開しています。

また、製品に含有する有害化学物質においては「含有化学物質管理委員会」を新設することで、有害物質の廃止および管理活動の強化を図っています。(P14参照)

